

がん検診を受けましょう!

【市町村がん検診担当課等一覧】(2021年4月現在)

地域名	市町村名	担当課等	TEL
熊本市	熊本市	健康づくり推進課	096-361-2145
宇城地域	宇土市	健康づくり課	0964-22-2300
	宇城市	健康づくり推進課	0964-32-7100
	美里町	健康保険課	0964-46-2113
玉名地域	荒尾市	すこやか未来課(保健センター)	0968-63-1133
	玉名市	保健予防課	0968-72-4188
	玉東町	保健介護課(保健センター)	0968-85-6557
	和水町	健康福祉課	0968-86-5724
	南関町	福祉課(保健センター)	0968-53-3298
	長洲町	福祉保健介護課(保健センター)	0968-78-7171
鹿本地域	山鹿市	健康増進課(山鹿健康福祉センター)	0968-43-0050
菊池地域	菊池市	健康推進課	0968-25-7219
	合志市	健康づくり推進課	096-248-1173
	大津町	健康保険課	096-294-1075
	菊陽町	健康・保険課	096-232-4912
阿蘇地域	阿蘇市	ほけん課	0967-22-5088
	南小国町	町民課	0967-42-1113
	小国町	福祉課	0967-46-2116
	産山村	健康福祉課	0967-25-2212
	高森町	健康推進課	0967-62-2910
	南阿蘇村	健康推進課	0967-67-2704
	西原村	保健衛生課	096-279-4397
上益城地域	御船町	健康づくり支援課	096-282-1602
	嘉島町	町民保険課	096-237-2574
	益城町	健康づくり推進課	096-234-6123
	甲佐町	総合保健福祉センター	096-235-8711
	山都町	健康ほけん課	0967-72-1295
八代地域	八代市	健康推進課	0965-32-7200
	氷川町	町民課	0965-52-7154
芦北地域	水俣市	いきいき健康課(保健センター)	0966-63-3202
	芦北町	健康増進課	0966-82-2511
	津奈木町	ほけん福祉課	0966-78-5555
球磨地域	人吉市	保健センター	0966-24-8010
	錦町	健康保険課(保健センター)	0966-38-2048
	多良木町	健康・保険課	0966-42-1100
	湯前町	保健福祉課	0966-43-4112
	水上村	保健福祉課	0966-44-0313
	相良村	保健福祉課	0966-35-1032
	五木村	保健福祉課	0966-37-2214
	山江村	健康福祉課	0966-24-1700
	球磨村	保健医療課	0966-32-1139
	あさぎり町	健康推進課	0966-45-7216
天草地域	天草市	健康増進課	0969-24-0620
	上天草市	健康づくり推進課	0969-28-3356
	苓北町	福祉保健課	0969-35-1111

がん検診は、市町村で実施期間や料金等が異なりますので、担当窓口にお尋ねください。

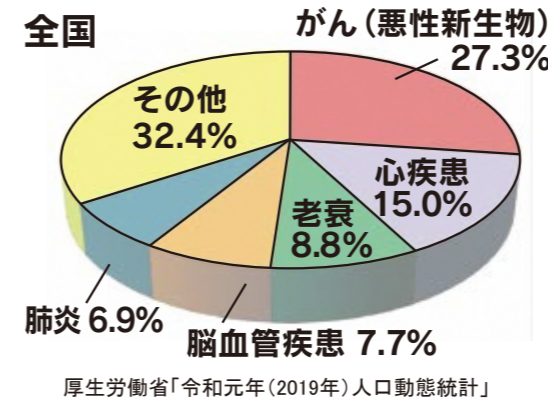


がん検診受診率55%をめざして

熊本県健康づくり推進課

「がん検診」がん検診は「不要不急」ではありません! がん検診を受けましょう。

がんで亡くなる人...3~4人に1人



がんにかかる人...2人に1人

がんになり患する確率~累積り患リスク (2018年データに基づく)

生涯でがんにかかる確率

男性.....65.0%
女性.....50.2%

国立がん研究センターがん対策情報センター「がん登録・統計」

知って
いましたか?

日本人の約2人に1人ががんになり、約4人に1人ががんで亡くなっています。



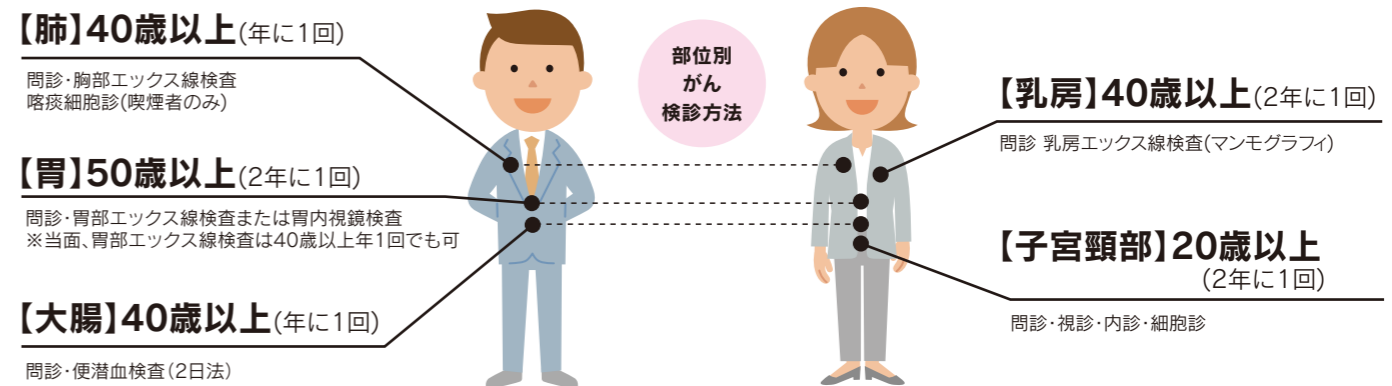
健やか生活習慣
くまもと県民運動キャラクター
「ASO坊健太くん」

日本人の2人に1人がかかると言われる「がん」。かつては「不治の病」と恐れられていましたが、医療技術の発展により、治る確率も高くなっています。がんを克服する最大のポイントは、なんといっても「早期発見・早期治療」です。

※東京大学医学部附属病院 放射線科 准教授 緩和ケア診療部長 中川恵一著「ビジュアル版がんの教科書」

がん検診の種類と主な検査方法

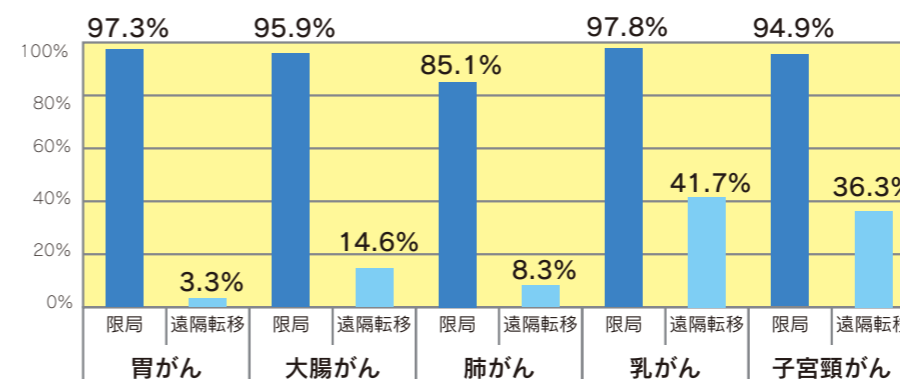
早期発見のために受診が勧められている「がん検診」は以下のとおりです。身体の部位によって検査方法が異なります。



「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」(平成20年3月 厚生労働省健康局長通知)

早期発見と進行後発見の場合、生存率が大きく異なります

5年相対生存率：進行度別 (2011年症例)



出典:熊本県のがん登録 平成29年(2017年)
注1)病期分類は、「地域がん登録」研究班が、限局、所属リンパ節転移、隣接臓器浸潤、遠隔転移の4病期に分類した「進展度」を用いる。
注2)5年相対生存率とは、がんと診断された人のうち、5年後に生存している人の割合が、日本人全体で5年後に生存している人の割合に比べてどのくらい低いかで表す。

熊本県のがん情報 がん検診って？

知っところ情報

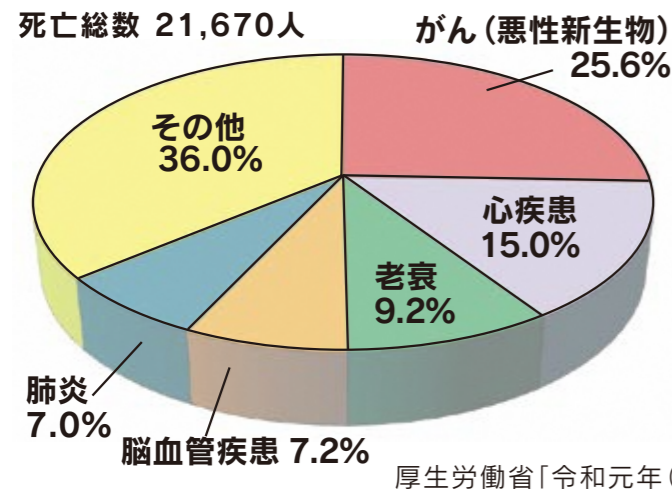
—がんの予防は早期発見・早期治療—

◆熊本県におけるがんの現状

熊本県の令和元年のがんによる死亡者は5,543人で、全死亡者の25.6%を占め、約4人に1人が”がん”で亡くなっています。

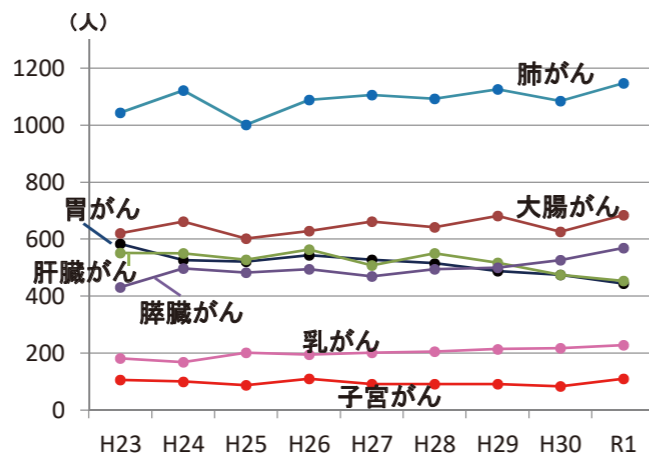
がんの予防の第一は、早期発見・早期治療です。がん検診を受けましょう。

主要死亡原因の割合



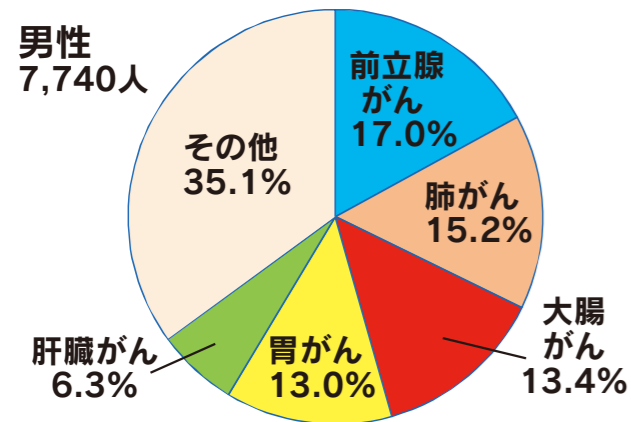
厚生労働省「令和元年(2019年)人口動態統計」

主な部位別がん死亡者数

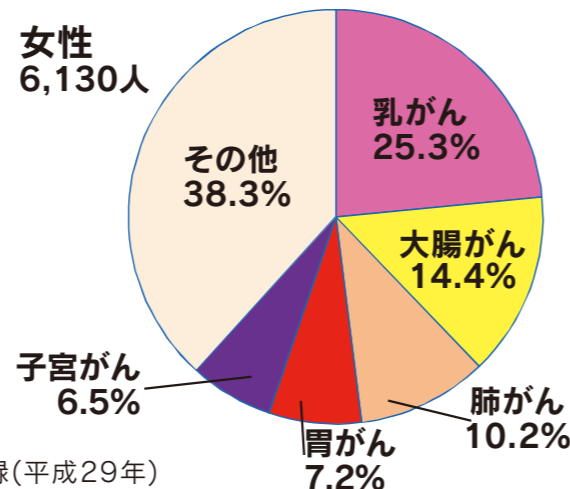


※平成28年に新たにがんと診断された数(上皮内がん除く)

熊本県民に多いがん(罹患率構成比)

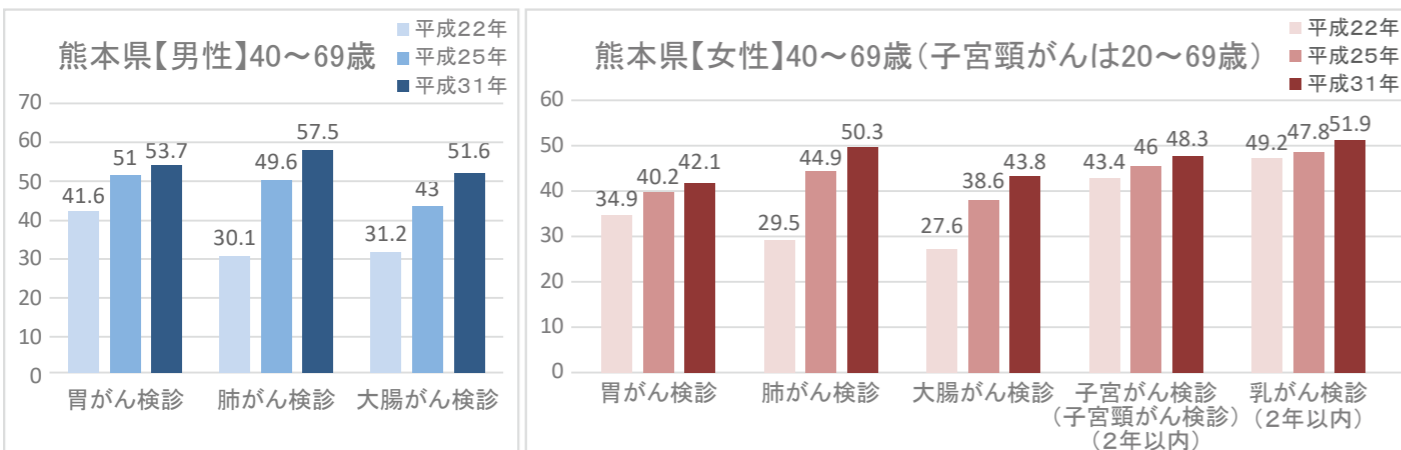


熊本県のがん登録(平成29年)



熊本県のがん検診受診率

厚生労働省「国民生活基礎調査」



自分自身やあなたを必要とする人のためにも、がん検診を受けに行きませんか。

20歳になったら、女性は子宮頸がん検診を2年に1回、40歳になったら、男女とも肺がん検診・大腸がん検診を年1回、女性は乳がん検診を2年に1回、50歳になったら、男女とも胃がん検診を2年に1回受けましょう。

検診を受ける方法は、市町村の検診や職場の検診、自分で検診機関に申し込んで受けることができます。

◆がんは「他人事」ではありません

早期のがんは治せる時代です。がん検診を受けて早く見つけてしっかり治しましょう!

がんは、症状が出てきたときには、かなり進行していることがあります。自覚症状がないときに、検診を受けて早期発見・早期治療を行えば、助かる場合が多いのです。

職場でがん検診、人間ドックのある方

がん検診、人間ドックを受けましょう

上記以外の方

お住まいの市町村で実施するがん検診を受けましょう。



検診費用はワンコインから!

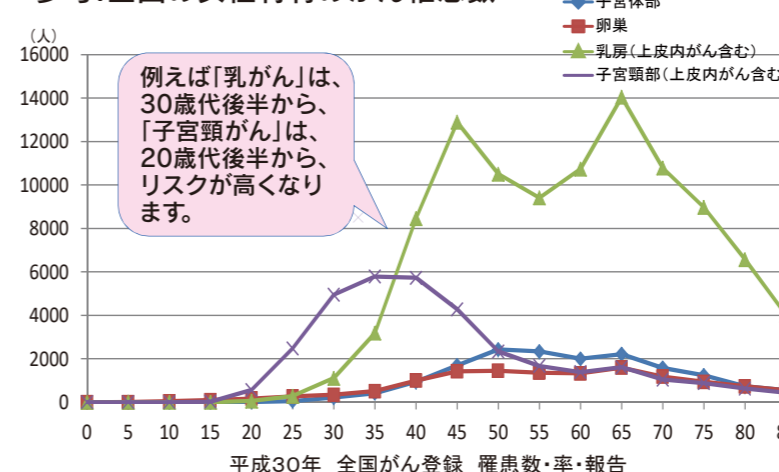
市町村では一部補助があり、自己負担が少なく受けられます。

- 集団検診の目安 500~1,000円前後
- 個別検診の目安 500~2,000円前後

検診機関では感染症対策を徹底してお待ちしています。

● 女性特有のがんは、比較的若い年代からリスクが高くなります。
● 若い頃から定期的に検診を受けられることをお勧めします。

参考: 全国的女性特有のがん罹患数



例えば「乳がん」は、30歳代後半から、「子宮頸がん」は、20歳代後半から、リスクが高くなります。

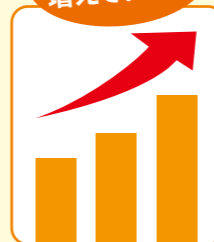
熊本県は令和5年度までにがん検診受診率55%をめざしています

(現在は、49%程度です)



健やか生活習慣くまもと県民運動キャラクター「ASO坊健太くん」

患者数は増えています



● 主ながんの種類別の特徴

大腸がん・・・早期発見で90%以上が治ると言われています。50歳代前後から増えはじめ、高齢になるほど多くなります。

胃がん・・・日本人に多いのが胃がんです。40歳以降、患者数が増えてきます。

肺がん・・・40歳代後半以降に多く、喫煙歴のある40歳以上の方は、特に注意が必要です。

乳がん・・・日本では、女性の約20人に1人が乳がんにかかるといわれています。

子宮がん・・・子宮頸がんと体がんの2種類があります。子宮頸がんは、20~30歳代で急激に増加しています。